

実施年月日	第5期 第4回運営審議会		平成29年3月8日(水)	
会場	江南区文化会館 多目的ルーム2		傍聴人	0人
出席者	委員	石田正文, 大沢美子, 石澤正明, 山倉茂美, 小見直樹, 塚田美智子, 田村智江, 横木春三		
	事務局 亀田地区公民館	鶴巻和仁館長, 辻 崇主任		
	曾野木地区公民館	樋口栄子館長, 宮川浩一主査, 山際結城主査		
	横越地区公民館	池田忠館長, 服部尚人主査		
主な議題	(1) 平成28年度新潟市公民館事業実施状況について (2) 平成29年度新潟市公民館事業について (3) その他			
(1) 平成28年度江南区公民館事業の実施状況について 資料に基づき各公民館より平成28年度事業実施状況について報告を行いました。				
鶴巻館長	<p>—亀田地区公民館—</p> <p>28年度事業の実施の説明をさせていただきます。</p> <p>今年度, 23事業を行ってまいりました。開催数ですと28開設し, 回数的には323回で, 今現在の延参加者数は3,615人という状況になっております。主だった事業について説明させていただきます。</p> <p>現在開催中の事業としては「地域の茶の間お亀染縁」「大江山の地域の茶の間」, それ以外では「子ども体験事業」「春休み学習室」はこれからになります。</p> <p>7. その他の「芸術に親しむセミナー」ですが, 20名の募集のところ70名弱の応募があり急遽, 講師の方をお願いして追加講座を開催することになりました。</p> <p>前後しますが, 2. 学・社・民の融合の「ふれあいスクール事業」を, 今年度2つ実施いたしました。</p> <p>丸山小学校での出前講座は当初計画にはありませんでしたが, 公民館と連携した事業が行いたいということで地域コーディネーターの方から依頼があり, 子どもふれあい事業に参加されている地域ボランティアの指導者に向けて子どもたちとの遊び方・関わり方の指導について, 講師を依頼しました新潟大学の篠田先生にご協力いただきました。</p> <p>亀田中学校での出前講座では空き教室がございませんで, 地域コーディネーターのお部屋を借りしてアロマ教室を行いました。</p> <p>アロマの香りで, 校舎内に匂いが漂い子ども達が興味を示し, 来年度もこのような講座を計画いただければありがたいというお話頂いており, 地域の方が学校に入るキッカケとなったのではないかと思います。</p> <p>3. 家庭教育力の向上を支援する事業の幼児期家庭教育学級ですが, 通常公</p>			

	<p>民館では、1歳から3歳の子どもを持つ親を対象に事業を行っておりますが、今年度、担当の方から1歳と3歳では遊び方の違いもあり、親の悩みも違う部分もあるので別々に開催したいという提案があり、1歳以上と2歳～3歳以上の親子さんに分けて2回開催いたしました。</p> <p>結果的には定員には達しませんでした。年齢期に合った講座だったと思っております。</p> <p>児童期家庭教育学級では「家族はみんな子どものために問題解決する力を持っている」「話の聞き方・自分の気持ちの伝え方教えます」をテーマに募集したところ定員を遥かに超える応募人数がありました。児童期でなかなか定員を超えることは少ないので、年齢層も幅広く参加者の動機についてアンケートで確認するのを楽しみにしております。</p> <p>例年、取り組んでいる「かめだ音楽祭」と「亀田地区文化展」は、昨年までは公民館が主体となり事業を行っていましたが、今年度より2つとも実行委員会を発足していただき参加団体の皆様から当日の準備なども携わっていただく形で取り組んでいくこととし、また実行委員会の全体会議の中でもそれぞれの意見がしやすいよう運営をしてまいりました。負担にはならず楽しくできたというご意見も反省会で頂いておりますので、来年も主体的に取り組んでいけるよう、また実行委員が動きやすいように公民館の方でも支援していきたいと思っております。</p> <p>次に大江山公民館での事業について説明いたします。</p> <p>大江山公民館では3事業を行いました。「おはよう朝ごはん事業」では非常に積極的に取り組んでいただき、食育に関心をもちながら参加者が楽しそうにしていたのが印象的で、年1回ではなく季節ごとにできればいいと個人的は思っております。来年度も各学校の協力を得ながら取り組んでいきたいと思ます。</p> <p>亀田地区公民館の事業の実施状況については以上です。</p>
宮川主査	<p>―曾野木地区公民館―</p> <p>説明前に事業実施状況に訂正3つございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 幼児期家庭教育学級（保育）4→5 ・そのキッズ（きもだめし企画会議）1→3 ・そのき市民学級（企画会議）6→3 <p>チラシを持ってまいりましたので、こちらの方を元に説明させていただきます。</p> <p>「1. まなびやサロンそのき」では、4月から3月まですいか割り、人形劇など年間を通じて子どもから高齢者まで楽しめる、まなびの場として実施しております。記載されている回数11回は2月までです。</p> <p>「2. 青少年健全育成大会」についてですが、曾野木地区青少年健全育成協議会が主体となって今回は「災害から命を守るために」というテーマでグルー</p>

	<p>プ討論を行い65人の参加がございました。</p> <p>また曾野木でも亀田地区公民館と同様にアロマの講座を行いました。スプレー、石鹸など小学校のコーディネーターと連携して31名の参加がございました。</p> <p>「7. 保育者研修会」ですが、曾野木地区公民館を主登録とする保育者さんと一緒に情報交換、保育に関する説明などを行いました。</p> <p>「8. そのキッズ」は、きもだめし・料理教室・映写会です。</p> <p>曾野木公民館1階から3階までを使用してきもだめしを行い、45名参加がありました。</p> <p>子ども料理は8月に24名参加、12月に31名参加し曾野木地区公民館で行いましたが、2月の21名につきましては東曾野木小学校で行いました。</p> <p>また映写会は、7月に図書館からDVDを借り実施いたしました。</p> <p>「13. 共生セミナー」は、ひととひととが共に生きる！ 全5回講座で、5回目は公開講座としてホールで行いました。</p> <p>次に両川での事業について説明します。</p> <p>両川の方では、アニメ映写会と木端で工作で、参加は5名でしたが開催しました。両川元気塾は県の方のレクリエーション協会と協賛してやるお話をさせて頂きましたが、日程は合わず今回中止とさせていただきました。来年はもっと早めに計画を立てて実施していきたいと思います。</p> <p>これで、曾野木と両川の説明を終わらせていただきます。</p>
服部主査	<p>—横越地区公民館—</p> <p>まず、訂正がございました。</p> <p>事業実施状況で、「16. ヘルシークッキング」は実施いたしませんでしたが、それに代わるものとして「20. 俳句入門講座」を実施しております。</p> <p>19につきましては、学校の方とのスケジュール調整がつかず中止といたしました。来年度はもっと早めに調整して行いたいと思います。</p> <p>「1. 横越地区昔語り部養成講座」「20. 俳句入門」につきましては、当館長であります池田が直接担当しておりますので、館長から説明いたします。</p>
池田館長	<p>「1. 横越地区昔語り部養成講座」ですが、横越地区には150近くの昔ばなしが語り継がれていますが、語り部の方が高齢になり若い人材を養成しないと継承するのが難しい状況でこのような講座を開催いたしました。語り部サークルの全面的な協力を得て、小学生3名と地域の方2名が方言やイントネーションも加えて話すことができるようになりました。</p> <p>「20. 俳句入門講座」では、昔、亀田郷地区は俳句の里と呼ばれていたが、衰退が著しい事から実施いたしました。4回の講座でしたが、参加された方から良かったということで4月から自主グループとして活動することになっております。</p>
服部主査	<p>今年度、中央公民館より可能な限り婚活の事業に力を注いでほしいと要望がありましたので、コミュニティ協議会と協力して「そば打ち体験」を実施いたし</p>

	<p>ました。50名募集しましたが、19名の応募で女性は5人参加され2組のカップルが成立しました。コミュニティ協議会と今まで繋がりは無かったが、来年度も一緒に計画・実施し、良い関係をコミュニティ協議会とも築いていきたいと思っています。</p> <p>「3. 横越地区親善スポーツ大会」「4. ふれあいウォーク」では、旧横越町当時よりこの2つの事業には補助金を支出し、各地域で補助金を原資にして開催してきました。平成27年度でその制度がなくなり、28年は補助金がない中での開催ということで心配していたが、例年通りの参加があり公民館としてはできる限りこの事業は続けていきたいと思っている。</p> <p>「5. 文化祭」では、自主グループを育成するように努めているが、数が減っているため規模と参加者が減っている。</p>
服部主査	<p>「6. 新春俳句大会」は毎年実施しているが、俳句入門講座を開催したこともあり新しい方々が参加され少し広がってきていると感じた。</p> <p>「7. ゆりかご学級」では春先より問い合わせがありましたが、横越地区公民館では3期のみで開催でしたが好評で終了することができました。</p> <p>「8. 幼児期家庭教育学級」では定員を上回る応募がありましたが、保育の定員等の関係もあり抽選とさせていただいたが、今後もできる限り多くの方を受け入れていきたいと思っています。</p> <p>「10. 思春期家庭教育学級」では、思春期、今の時代それに伴い子どもも大変で親御さんも大変な環境であり、今回は「子どもを傷付けていること」にテーマを置いて、インターネットなども含め親が良く知るという観点で実施していきました。</p> <p>「11. 子育てひろば」は、第1火曜日、第3火曜日に実施している。申込は不要で来るのも帰るのも一切自由で、盛況に実施させていただいており、それだけ需要があるとこちらでは判断しています。</p> <p>「12. 子ども体験事業」ですが、夏休みにおいて2日間実施しました。絵手紙のサークルと語り部サークルのご協力を頂いて子ども達に簡単にできる地元の物を題材にして実施しました。</p> <p>「15. いきいきセミナー」は、毎月1回年間通して全9回行っています。最初の段階で参加していただいた方と相談し全体のプログラムを決めています。その中で仲間づくり、日々の生きがいを感じて頂ければと思っています。</p> <p>「17. 女性セミナー」では、子育て中ではあるがその後働き続けて行きたいという人を対象に実施しました。</p> <p>「18. 文化講座」は、文化講座とありますが今回は太極拳をやっています。毎年、自主的なグループにながっていく意味で文化講座としています。人気があり当初募集した人数を超えたが希望がある方は全員受け入れました。横越地区公民館は以上です。</p>
石澤議長	公民館事業実績状況について質問はございますか？
小見委員	どの館も非常に素晴らしい活動をしている。

	<p>亀田も横越も社会的な実態もあり子育てに関する募集が多いが、集まって来られる方は何で情報を catch しているのか？全く知らない人もいる中でどのように情報を発信しているのか？</p>
<p>蘆巻館長</p>	<p>(小見委員の意見をうけて)</p> <p>亀田地区公民館の現状では昨年度も児童期の参加はかった。申し込まれた方の住所は江南区が半分くらいでそれ以外は江南区以外の方。施設は新しくなり、またアクセスも良いことから車で来やすくなったという印象を感じています。江南区以外で多いのは東区、秋葉区の申し込みの人数が多いです。情報の発信としては、チラシを各公民館に配布し、ホームページで事業を公開しており、またフェイスブックも今立ち上げており、これらの情報ツールを使いながら市民の方に呼びかけています。</p>
<p>服部主査</p>	<p>(小見委員の意見をうけて)</p> <p>横越地区公民館は他の公民館で登録している子育てサークルの利用が増えています。当館に来てチラシを見ていただき、活動日に声かけをしていますのでそういったものだと思います。</p>
<p>小見委員</p>	<p>他の公民館登録団体の利用が増えているという現象は、どう理解したらいいでしょうか？</p>
<p>樋口館長</p>	<p>(小見委員の意見をうけて)</p> <p>ゆりかご学級は始まって今年で41年間になります。そして24館で開催しています。乳児期の家庭教育学級は、この場合生まれた月で参加できる公民館が決まっているので、区をまたがって、どこからでも参加できることを「市報にいがた」にも載せてるというのがゆりかご学級です。幼児期家庭学級、子育てサロンにつきましては区の区役所だよりでしかご案内していませんがチラシは色んな所に置かせてもらっています。募集人数より応募はいつも多い中、抽選で30名を選んでいきます。全公民館決められた人数が30名。本当は皆さんに受けて頂きたいが、保育の定員が20名となっていて、核家族が多いため子どもを預けないと参加できない人が多いのですが、保育士さんを増やしたいが予算がないため家庭教育学級はなかなか全員の方を受け入れることができない状態です。</p>
<p>横木委員</p>	<p>公民館事業の中で一番重要なのは「3. 家庭の教育力の向上を支援する事業」だと思います。公民館として一番力を発揮できる事業だと思います。それ以外の活動もありますが、一番大事な重点的などところに予算をかける事はできないのでしょうか？</p>
<p>石澤議長</p>	<p>ゆりかご学級の保育は無料ですか？ ボランティアではだめなのでしょう？</p>
<p>樋口館長</p>	<p>(石澤議長の質問を受けて)</p> <p>新潟市の場合は保育室を学びの場としているので、ただ、ボランティアで入ってもらっては困ります。子ども同士でも赤ちゃんでも学んでいると捉えています。保育を行っている時、赤ちゃんが手をあげて寝ている隣の赤ちゃんの手</p>

	<p>が触れた事で声をあげて笑うんですがそれが学びです。いつものお母さん、お父さんと違う柔らかい手だと感じる事を学びだと考えています。養成講座を受講した保育士さんをお願いしています。ボランティアではとてもできない仕事です。</p>
石澤議長	<p>確かにボランティアではできない仕事ですね。 他に質問はありませんか？</p>
田村委員	<p>重要なのはやはり3番家庭の教育力の向上を支援する事業だと思います。28年度に重点的に取り組む分野としてどの館もそれぞれ活動していると感じました。</p> <p>亀田地区公民館の筆ペンの講座は予定より募集が多かったと言う事で、追加講座を行ったというのは、非常にいいことだと思いました。要望が高いのに対しては予算を追加して行っていくべきだと思います。</p> <p>曾野木地区公民館での共生セミナーはとても良い講座でした。協力委員がこの講座と一緒に運営する企画委員を募集している事がとても良いと思いました。対話形式でしたので勉強になりましたし幅広い世代の悩みを共有できるのも良かったと思います。</p> <p>横越のいきいきセミナーに参加させてもらっています。これも自分達が運営に参加するのですが、市民が参加する講座は人数も多くなるし口コミで良いことが広がって行くので、良かったと思います。これからの公民館の姿を現していると感じました。</p> <p>これからは高齢者対策も必要となってくると思います。</p> <p>江南区はお茶の間「お～うん」が立ち上がります。石山地区公民館では地域の茶の間の学校を行っているが、地域を支えていかなければいけないので、公民館も支援してやっていただきたいと思います。</p> <p>オリンピックに対応して簡単な英語を話そうというこれからの見据えた講座もあればよいと思います。</p> <p>あとは、両川と大江山にもたくさん講座をもってきていただきたいと思います。今年度は、亀田地区公民館より地域連携事業でひとつもってきていただいたので良かったと思います。ありがとうございました。</p>
石澤議長	<p>他に質問はございませんか？ ありましたら最後に伺いますので、次の議題に入らせていただきます。</p>
(2) 平成29年度公民館事業について	
鶴巻館長	<p>29年度公民館事業について説明させていただきます。</p> <p>平成29年度の公民館事業については、議会中で議決されてはいませんが、4月以降の公民館事業については各館準備にはいっております。</p> <p>今現在では案になるのですが、28年度は「3. 重点的に取り組む事業」となっておりましたが、「3. 基本施策」に変更しております。基本的には同じなのですが、少し文言を変えています。</p> <p>公民館ではいろいろな事業に取り組んでおりますが、ここについては基本方</p>

	<p>針があつての方向性なので、教育ビジョン・未来ビジョンは変わる事ではなく28年度と同じでと考えています。</p> <p>29年度の公民館の事業ですが、詳細については来年度の会議の時にお示ししたいと思います。各館でポイントだけお話ししたいと思います。</p> <p>亀田地区公民館では事業の増減等ございませんが、今年度の事業の説明の中で「かめだ音楽祭」と「亀田地区文化展」では実行委員形式で行ってきたとお話しました。亀田のお亀楽縁と大江山の地域の茶の間は職員が関わってきているが、今後はその2つも実行委員形式で、自主的に活動していけるよう地域に残していきたいと思ひます。来年度は育成して精査をする年になると思ひます。</p> <p>亀田は以上です。</p>
宮川主査	<p>曾野木の方は、29年度も28年とほとんど同じであります。2の青少年の健全育成については主催事業から外れますが、あとは変わりありません。両川の方も同じです。</p>
服部主査	<p>横越も大幅に変わる事はありません。子ども体験事業ですが、冬の分ができませんでしたので、子どもを対象とした事業に力を入れていきたいと思ひます。</p>
石澤議長	<p>なにか質問はありますか？</p> <p>この（案）というのはいつごろ取れるのですか？</p>
靄巻館長	<p>（石澤議員の質問を受けて）</p> <p>今月24日に各公民館と館長会議があるので、それまでには結論がでると思ひます。</p>
横木委員	<p>亀田地区公民館は文化会館の運営も行っているのですが、職員が少ない中大変だと思ひます。今後は委託するのですか？</p>
靄巻館長	<p>（横木委員の質問を受けて）</p> <p>方向性としては、文化会館の一部を委託する予定であります。</p> <p>今後は地域課と話をしていくところです。</p>
石澤議長	<p>他に質問はありますか？</p> <p>無かったら次の議題に移りたいと思ひます。</p>
（3）その他	
<p>靄巻館長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度の予算の使い方の変更 ・公民館の公募のマークの決定 ・石附幸子先生の分割質問の話等がありました。 	